



11月28日、わんぱく学級「竹とんぼ教室 & いもたき」を近永公民館と中央公民館を会場に開催しました。

まずはいもたきの準備。婦人会の皆さんに教えていただきながら、具材を調理していきます。準備ができたなら、味付けと仕上げを婦人会にお願いして竹とんぼ教室です。

今年も講師に国際竹とんぼ協会の清水浩さん、淳子さんご夫妻をお招きし、老人クラブ近永支部のみなさんに手伝っていただ

# わんぱく学級 「竹とんぼ教室&いもたき」

いて竹とんぼを作りました。完成後は体育センターで竹とんぼを飛ばして、飛距離や高さを競いました。

そのあとは、近永公民館に戻っていもたき会。ご協力いただいた皆さんと一緒に、おいしいいもたきをいただきました。

今回ご協力いただきました協力員の皆様に、厚く御礼申し上げます。

わんぱく学級につきましては、今後も感染症への対策を取りながら、小学校と相談して実施していきたいと考えております。



# ミニちかなが



2021年  
(令和3年)  
**1月**  
近永公民館報

明けましておめでとうございませう。

今年も公民館活動に対しまして、より一層のご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

新年を迎えて

近永公民館長 松浦 幹生



コロナ禍の中で新年を迎えることになりました。県外への移動や外出の自粛等で、例年とは全く違った、静かでもよと寂しいお正月を送っておられるご家庭が多いのではないのでしょうか。一年を超える長い闘いとなっていますが、ワクチンの開発で、やっと明るい兆しも見えてきました。もう少しの辛抱でいつもの平穏な日々がやってくると思います。

さて、昨年の公民館活動の前期においては、計画していた会議や行事等がほとんど実施できず、区長さんをはじめ体育委員さん他、各地区の役員の皆様には大変なご迷惑とご心配をおかけいたしました。拍子抜けの一年になったのではないかと思います。後期につきましても世の中もウィズ・コロナ、コロナと共にという考え方に變化し、公民館活動も密を避け、マスク、換気、消毒を徹底しながら工夫した取り組みが実施できるようになってきました。現在、存分に実施できるのが子どもを対象にし

た「わんぱく学級」です。子どもたちは老人クラブや婦人会、そして青年団の皆さんと楽しく交流しながら充実した活動を行っております。なお、活動の様子は毎月の『ミニちかなが』に掲載しておりますので、目を通していただきますようよろしくお願い申し上げます。

今年、丑(牛)年です。牛は古くから農業等で人間を大いに助ける大切な動物でした。その力強い働きぶりから、丑年は「我慢(耐える)」、「これから発展する前触れ(芽が出る)」というような年になると言われています。耐えて頑張つてこそ大きな成果が出ます。公民館としても今年が良い年になるよう、こつこつと取り組んでいきたいと思っております。皆様方、今後とも健康で明るい地域作りのため、公民館活動に積極的なご参加、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様方にとりましても本年が最良の年になりますようご祈念申し上げます。

## レディース・カルチャー・スクール開講 ●●発泡スチロールの干支教室●●



12月9日、近永公民館でレディース・カルチャー・スクールを開講しました。今回は、武田光さん(北川)を講師に迎え、発泡スチロールで作る干支教室を行いました。

受講生の皆さんは、時間が足りなくなるほど熱心に作業されて、かわいい干支がたくさんできました。

